

問1 時間がたつと、太陽はどの方角からどの方角へと動いていきますか。

問2 太陽を直接^{ちよくせつ}見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

問3 温度計を使ってものの温度を正しくはかるとき、ものの温度が伝わる^{つたわ}のは温度計のどの部分ですか。

問4 日光（にっこう）が当たっている場所は、日光が当たっていない日かげとくらべて、どのようなちがひがありますか。

問5 北に顔を向けて立ったとき、あなたの右がわにあたる方向はどれですか。

問6 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といいますか。

問7 理科の学習で、あたたかさを表す「温度」を書き表すときに使う、「℃」という記号はなんと読みますか。

問8 日光が当たっていない暗いところのことで、地面がつめたく、少ししめっている場所を何といいますか。

問9 北に顔を向けたとき、右がわが東、左がわが西になるような、方向をあらわす言葉を何といいますか。

問10 校庭に、棒^{ぼう}（ぼう）や木、人間など、いろいろなものが立っています。太陽の光が当たったとき、これらのかげの向きはどうなりますか。

問11 えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかるために使う道具の名前は何か。

問12 温度計の目もりを正しく読むとき、目の高さはどこに合わせますか。

問13 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側^{はんたいがわ}にできる暗い部分のことを何といいますか。

問14 太陽が南の空を通るとき、太陽の高さはどのようになりますか。

問15 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

問16 地面にできたかげが、時間がたつと動くのはなぜですか。